

○福山市 市民意識調査結果（概要）

I 「結婚・出産・子育て」に関する意識調査

1～11 ページ

- ①調査地域 福山市内
- ②調査対象 福山市に住民登録されている 18 歳から 39 歳までの男女から 4,000 人を無作為に抽出
- ③調査方法 郵送により調査票を配布・回収
- ④調査時期 2015 年（平成 27 年）7 月 29 日（水）～8 月 11 日（火）
- ⑤回収率 発送数 : 4,000 票
有効回収数 : 957 票
有効回収率 : 23.9% (957 票÷4,000 票)

II 「定住・移住」に関する意識調査

12～19 ページ

- ①調査地域 福山市内
- ②調査対象 福山市に住民登録されている 18 歳から 49 歳までの男女から 4,000 人を無作為に抽出
- ③調査方法 郵送により調査票を配布・回収
- ④調査時期 2015 年（平成 27 年）7 月 29 日（水）～8 月 11 日（火）
- ⑤回収率 発送数 : 4,000 票
有効回収数 : 1,108 票
有効回収率 : 27.7% (1,108 票÷4,000 票)

III 高校生の「進学・就職」に関する意識調査

20～27 ページ

- ①調査対象 福山市内の高等学校（8 校）に在籍する最終学年の生徒
- ②調査方法 学校から調査票を配布・回収
- ③調査時期 2015 年（平成 27 年）8 月 31 日（月）～9 月 7 日（月）
- ④回収数 発送数 : 1,464 票
有効回収数 : 1,398 票
有効回収率 : 95.5% (1,398 票÷1,464 票)

- 回答結果は、各項目の不明を含む有効サンプル数に対する百分率（%）で示し、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを表示している。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢毎の有効回答数に対しての、それぞれの比率を示している。そのため、合計が 100.0%を超える場合がある。
- 図表中の「n」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示している。

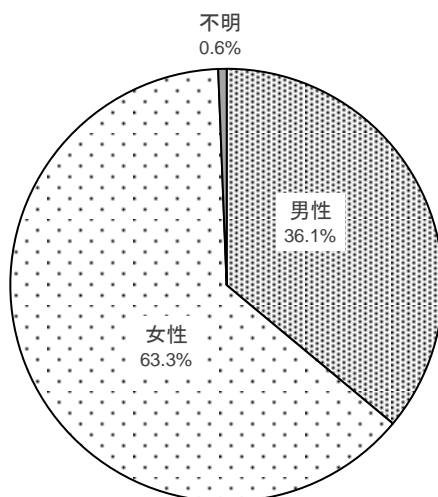
I 「結婚・出産・子育て」に関する意識調査

1 属性

(1) 性別（全員，単数回答）

○性別は、「男性」（36.1%）、「女性」（63.3%）であり，女性が過半数以上の回答結果となっている。

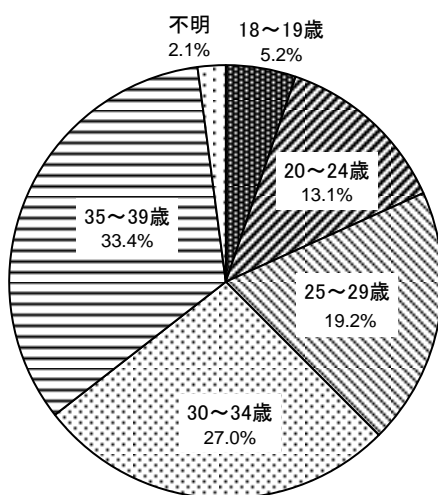
(n=957)



(2) 年齢（全員，単数回答）

○年齢は，35歳～39歳（33.4%）が最も多く，次いで，30歳～34歳（27.0%）となっている。

(n=957)

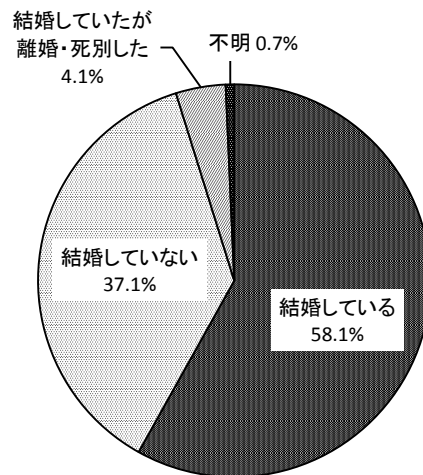


2 結婚

(3) 現在の未婚・既婚の状況 (全員, 単数回答)

○「結婚している (既婚)」(58.1%), 「結婚していない (未婚)」(37.1%) で, 約6割が既婚者である。

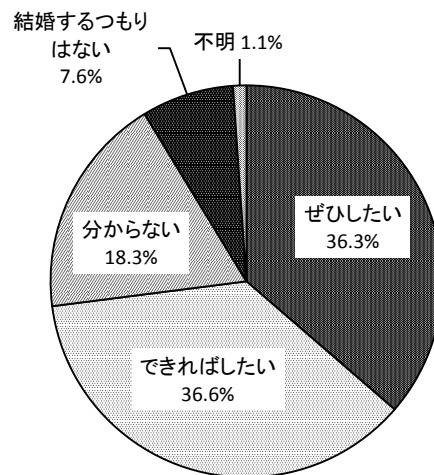
(n=957)



(4) 今後の結婚の意向 (未婚の方のみ, 単数回答)

○「ぜひしたい」(36.3%), 「できればしたい」(36.6%) で, 未婚者のうち約7割が結婚したいと回答している。

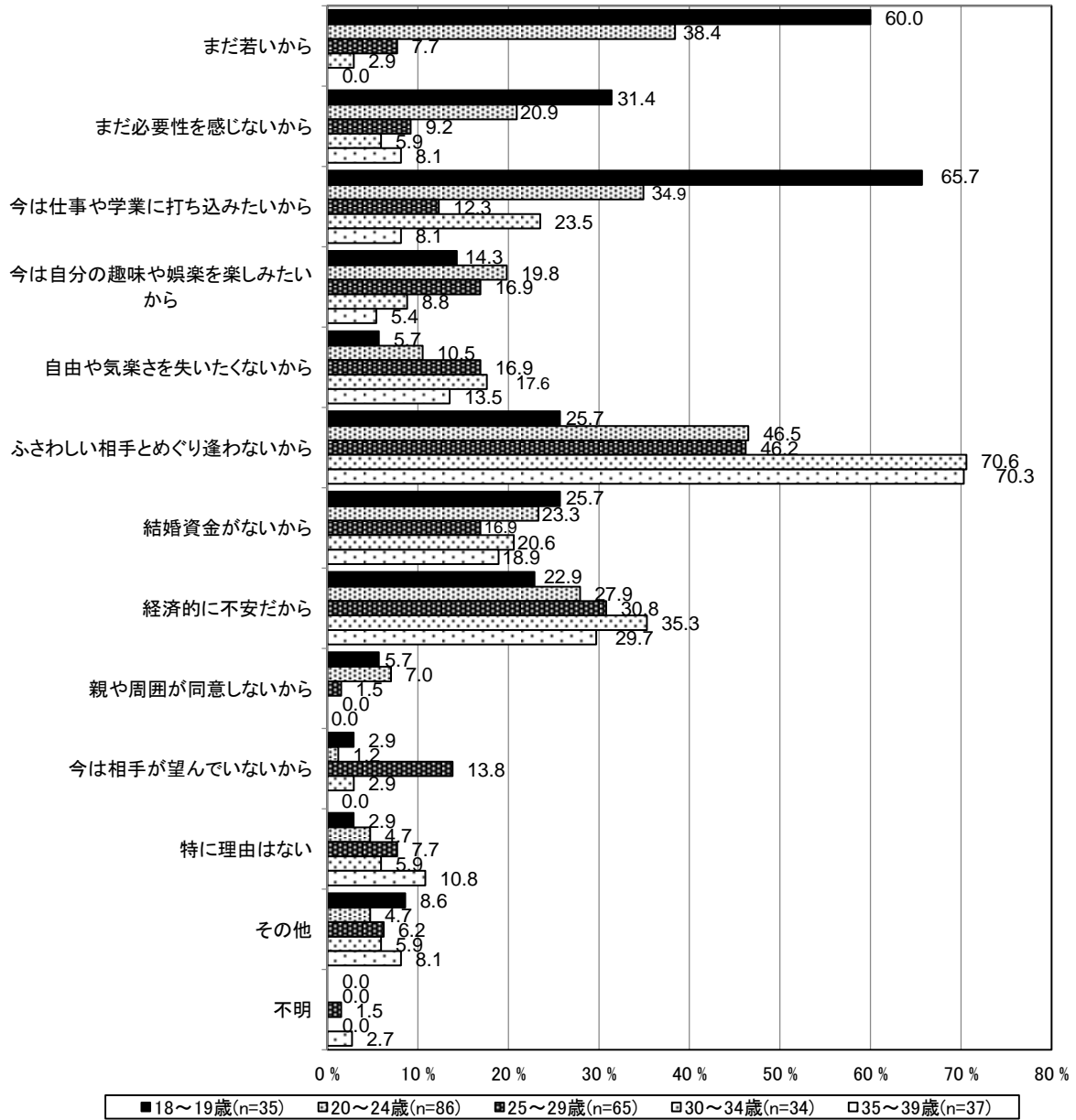
(n=355)



(5) 結婚をしていない理由（未婚の方のみ、複数回答）

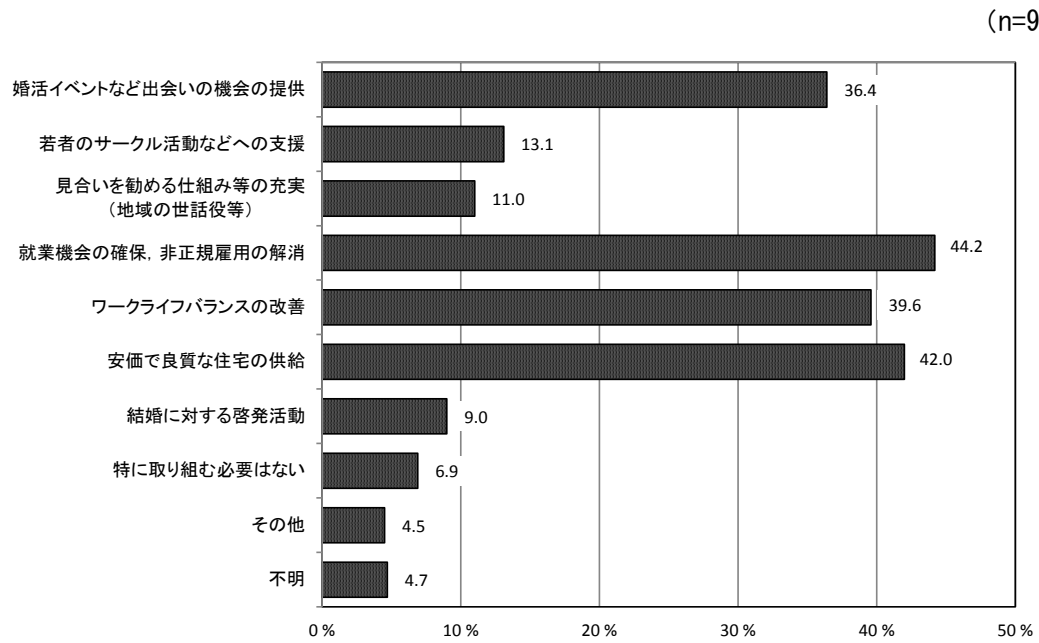
○20～24歳では、「ふさわしい相手とめぐり逢わないから」（46.5%）が最も多く、次いで「まだ若いから」、「今は仕事や学業に打ち込みたいから」が多い。

○30歳代では、「ふさわしい相手とめぐり逢わないから」が約7割で、次いで「経済的に不安だから」が多い。



(6) 結婚支援のための行政の取組（全員、複数回答）

○「就業機会の確保，非正規雇用の解消」，「安価で良質な住宅の供給」，「ワークライフバランスの改善」，「婚活イベントなど出会いの機会の提供」が，それぞれ約4割である。

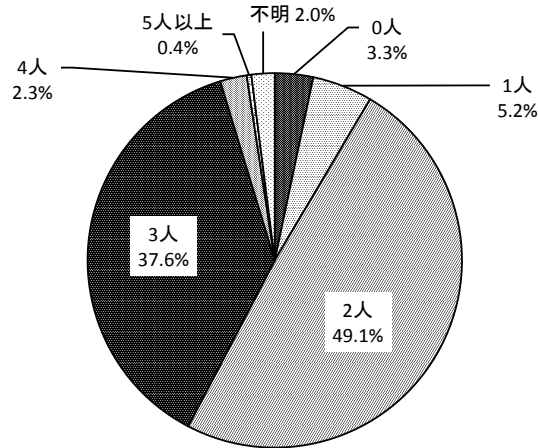


3 出産

(7) 理想の子ども的人数（全員が対象，単数回答）

○ 2人（49.1%），3人（37.6%）で，2～3人が8割以上である。

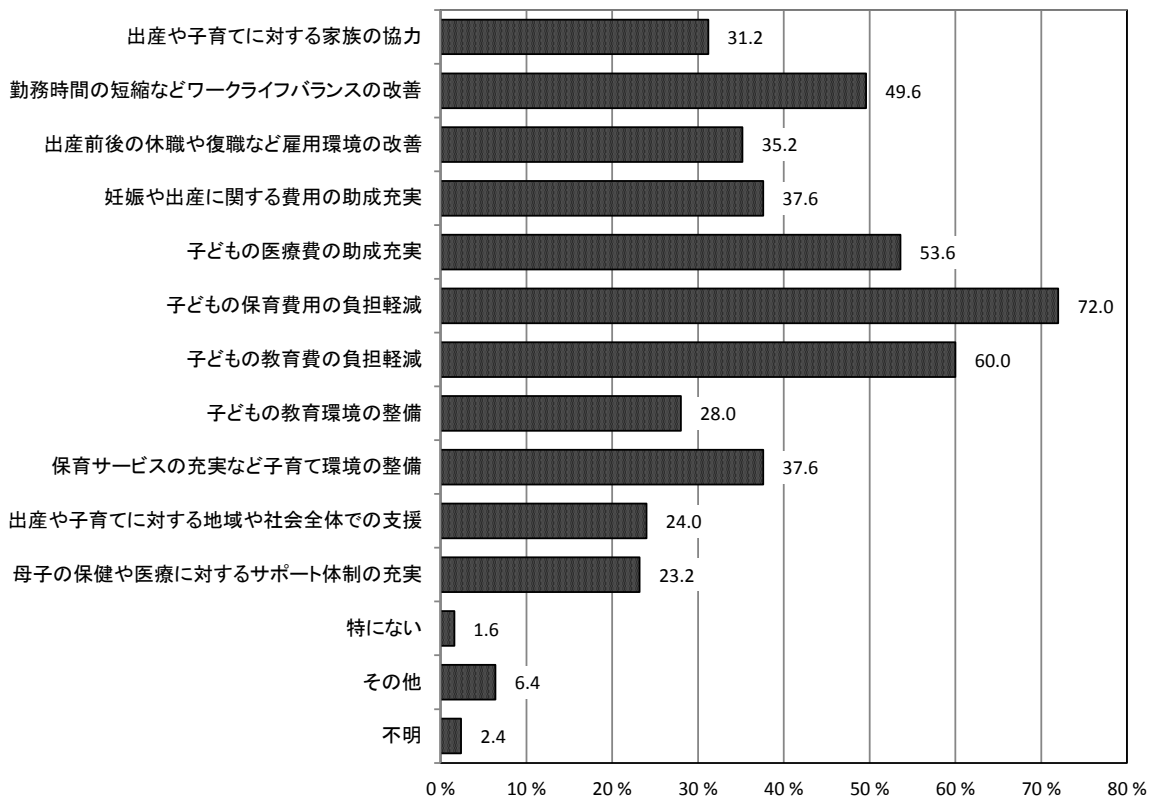
(n=957)



(8) 理想の子ども数をもつための条件（予定子ども数が理想子ども数よりも少ない方のみ，複数回答）

○ 「子どもの保育費用の負担軽減」（72.0%），「子どもの教育費の負担軽減」（60.0%），「子どもの医療費の助成充実」（53.6%），「勤務時間の短縮などワークライフバランスの改善」（49.6%）となっている。

(n=125)



※予定子ども数とは，現在いる子どもの数と，今後持ちたいと考えている子どもの数の合計

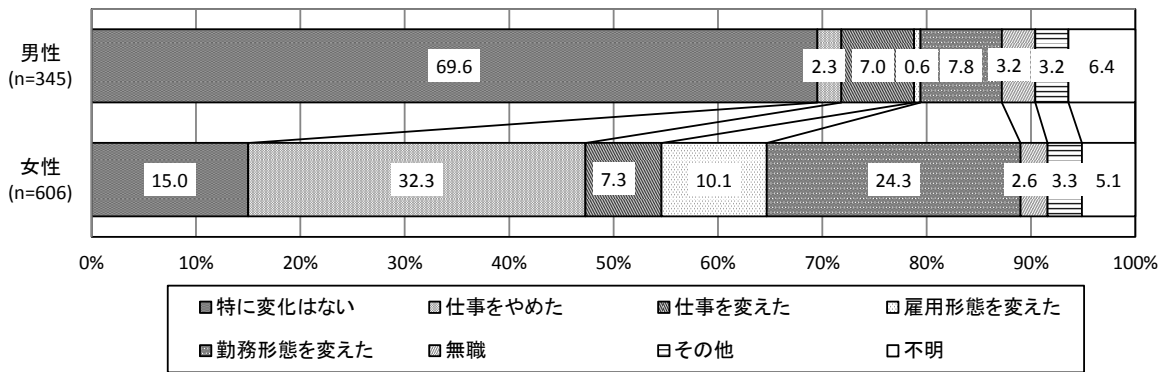
※予定子ども数から理想子ども数を引いた数で，マイナスであれば理想子ども数よりも予定子ども数が少ないことを示す。

4 子育て

(9) 結婚・出産前後での仕事の変化（全員、単数回答（男女別））

○男性では、「特に変化はない」が 69.6%を占めるのに対して、女性では、「仕事をやめた」32.3%、「勤務形態を変えた」24.3%、「雇用形態を変えた」10.1%などとなっており、男女間で大きな差がみられる。

○なお、女性では、親が同居している場合は、そうでない場合と比べて、「仕事をやめた」割合が低くなっている。

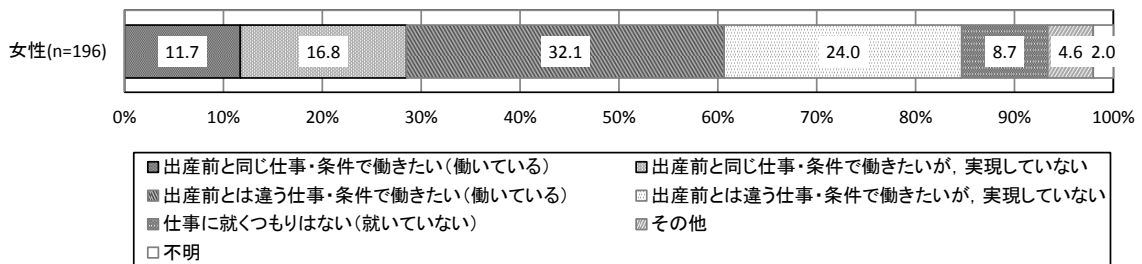


(女性)

	特に変化はない	仕事をやめた	勤務形態を変えた (短時間勤務制度の利用など)
親と同居	17.7% (全体：15.0%)	20.8% (全体：32.3%)	28.3% (全体：24.3%)

(10) 子育て後の働き方への意向（結婚・出産を機に仕事をやめた方のみ、単数回答）

○「出産前とは違う仕事・条件で働きたい」(32.1%)、「出産前とは違う仕事・条件で働きたいが、実現していない」(24.0%)などが多くなっている。

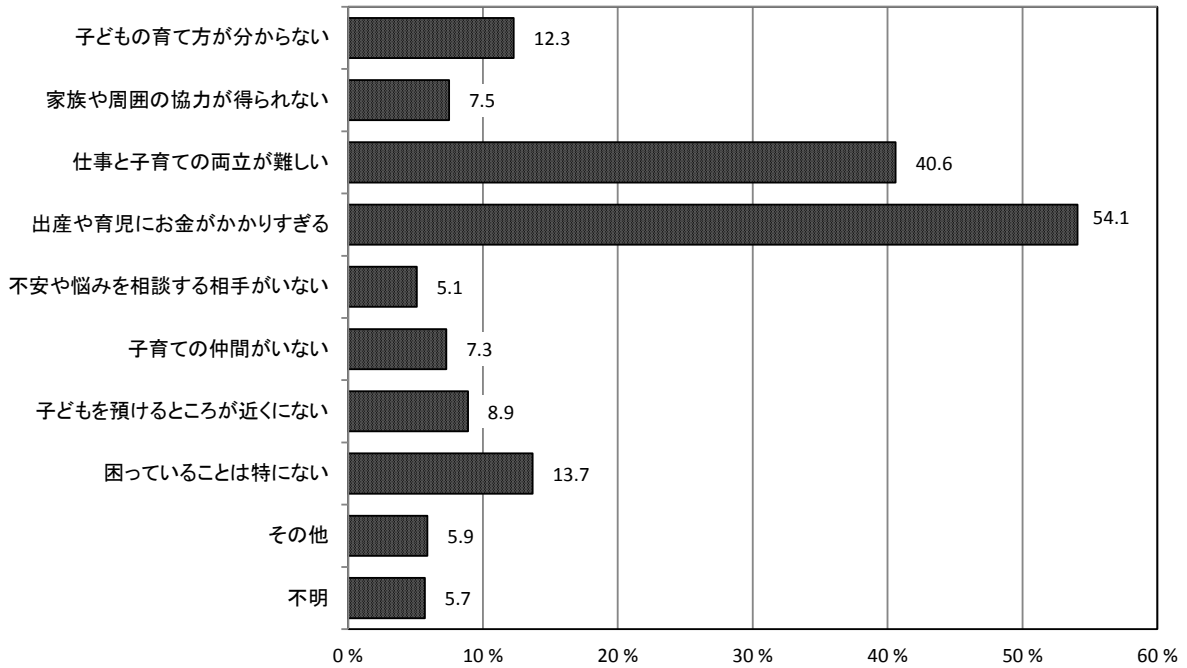


(11) 子育てに関する不安等（現在子育てをしている，または経験がある方（子どもがいる方）のみ，複数回答）

○「出産や育児にお金がかかりすぎる」(54.1%)，「仕事と子育ての両立が難しい」(40.6%)
 が高い割合となっている。

○親と同居している家庭では，「仕事と子育ての両立が難しい」がやや少ない。

(n=495)

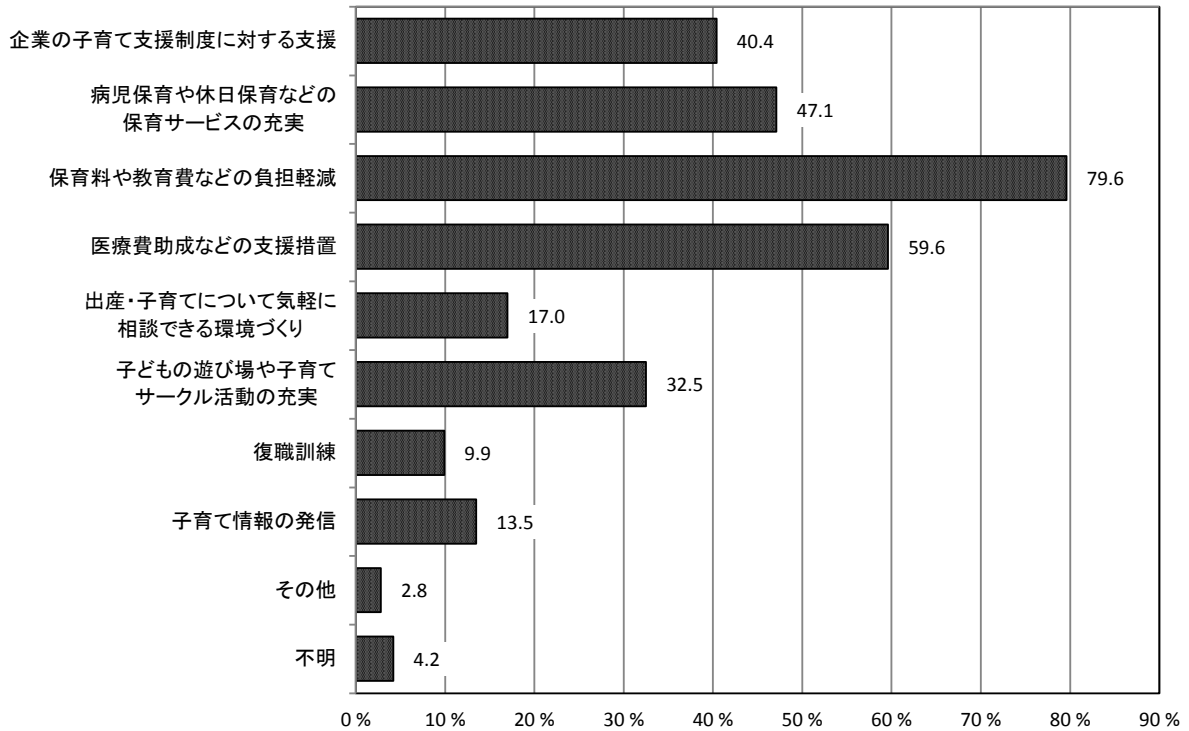


	仕事と子育ての両立が難しい	出産や育児にお金がかかりすぎる
親と同居	33.3% (全体：40.6%)	55.2% (全体：54.1%)

(12) 子育て支援に効果的な行政の取組（現在子育てをしているか経験がある方（子どもがいる方）のみ、複数回答）

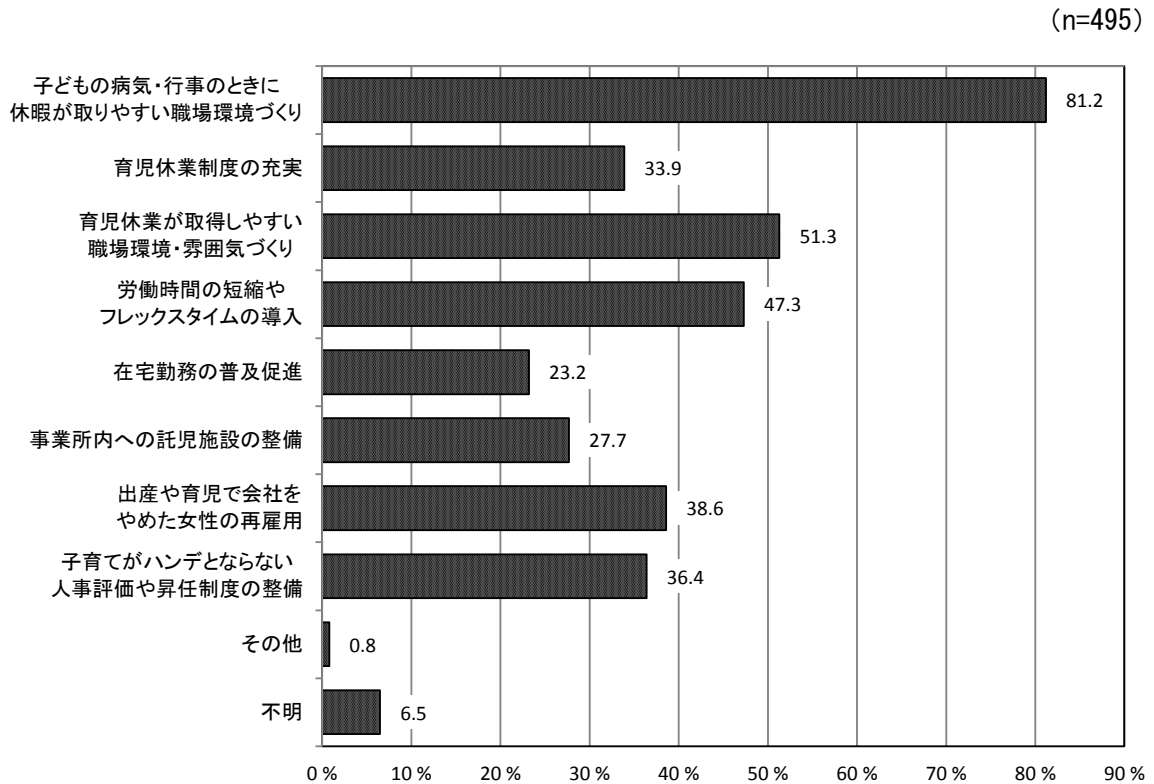
○「保育料や教育費などの負担軽減」（79.6%）, 「医療費助成などの支援措置」（59.6%）, 「病児保育や休日保育などの保育サービスの充実」（47.1%）が高い割合となっている。

(n=495)



(13) 子育てと仕事の両立のため企業に対する期待（現在子育てをしているか経験がある方（子どもがいる方）のみ、複数回答）

○「子どもの病気・行事のときに休暇が取りやすい職場環境づくり」（81.2%）が特に多く、次いで、「育児休業が取得しやすい職場環境・雰囲気づくり」（51.3%）、「労働時間の短縮やフレックスタイムの導入」（47.3%）が高い割合となっている。

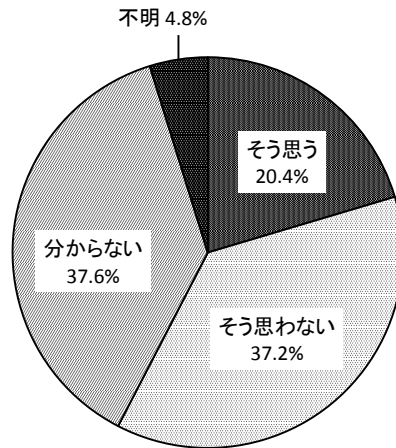


(14) 福山市が子育てしやすい環境についての評価とその理由

【子育てしやすい環境か】（現在子育てをしているか経験がある方（子どもがいる方）のみ、単数回答）

○「分からない」（37.6%）, 「そう思わない」（37.2%）, 「そう思う」（20.4%）の順となっている。

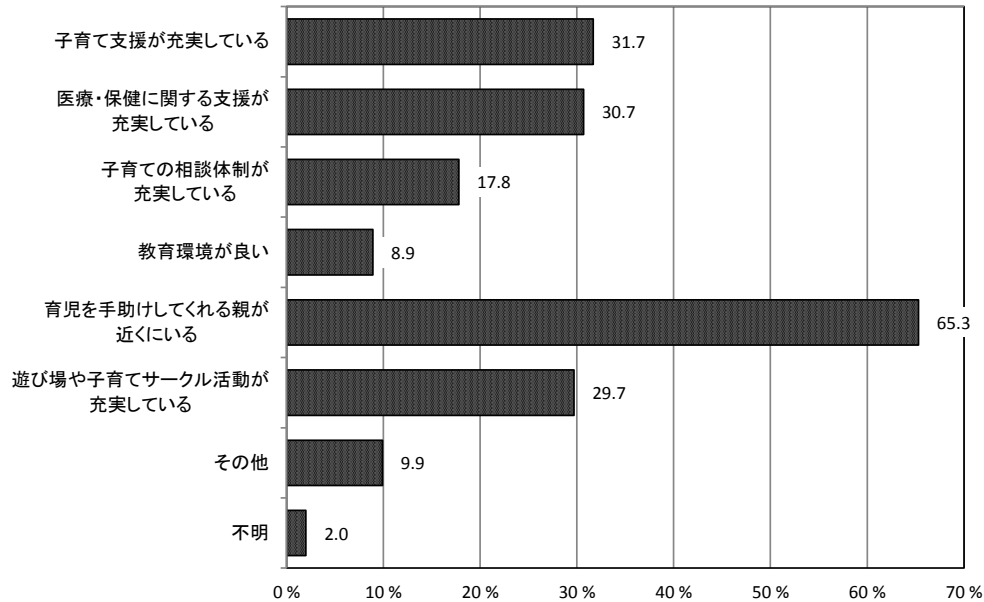
(n=495)



【子育てしやすい環境であると思う理由】(子育てをしやすい環境のあると回答した方のみ、複数回答)

○「育児を手助けしてくれる親が近くにいる」(65.3%)が最も多く、次いで「子育て支援が充実している」(31.7%)、「医療・保健に関する支援が充実している」(30.7%)の順となっている。

(n=101)

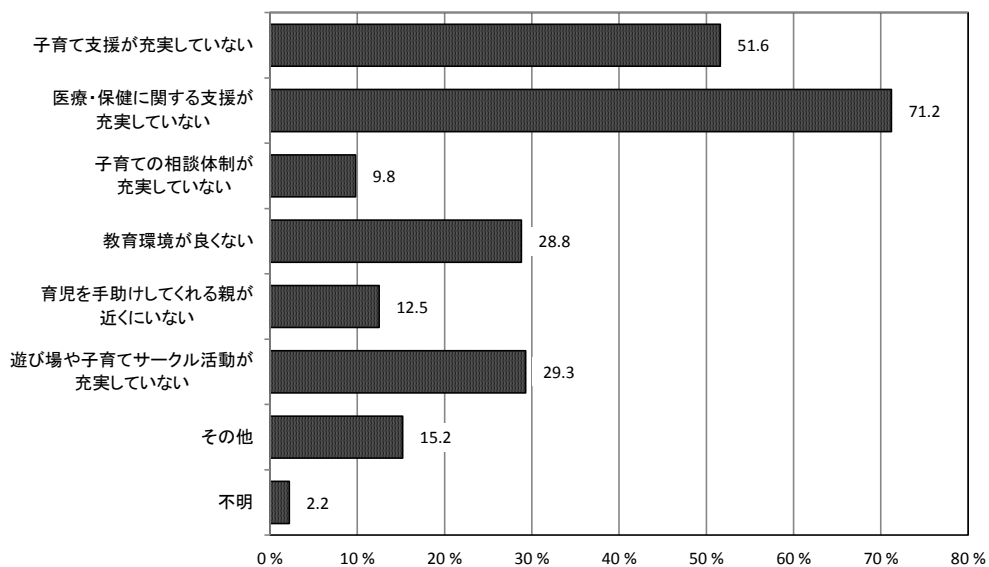


【子育てしやすい環境ではないと思う理由】

(子育てをしやすい環境のあると思わないと回答した方のみ、複数回答)

○「医療・保健に関する支援が充実していない」(71.2%)が最も多く、次いで「子育て支援が充実していない」(51.6%)、「遊び場や子育てサークル活動が充実していない」(29.3%)の順となっている。

(n=184)



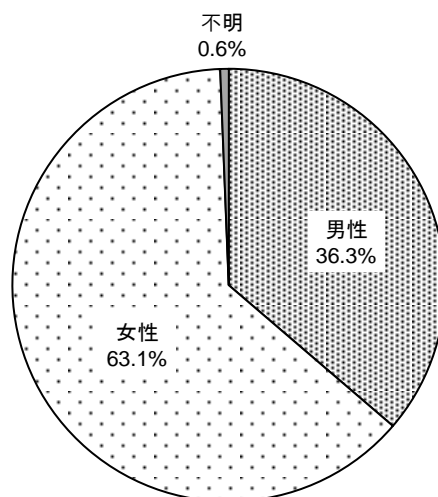
Ⅱ 「定住・移住」に関する意識調査

1 属性

(1) 性別（全員，単数回答）

○性別は、「男性」（36.3%）、「女性」（63.1%）であり，女性が多い回答結果となっている。

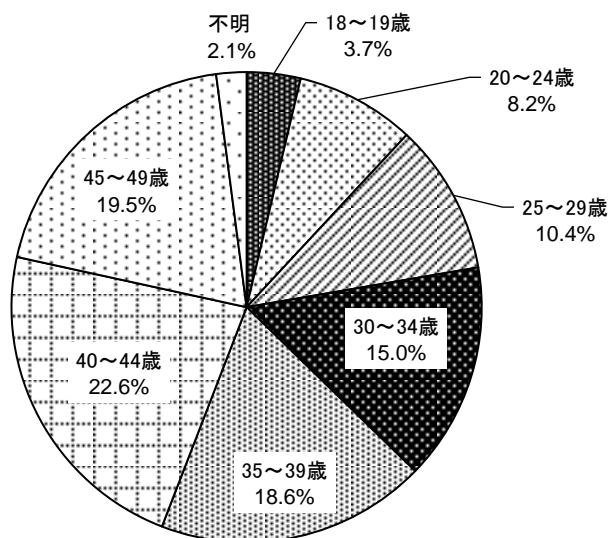
(n=1,108)



(2) 年齢（全員，単数回答）

○年齢は，40代前半が最も多く，次いで，40代後半，30代後半となっている。

(n=1,108)

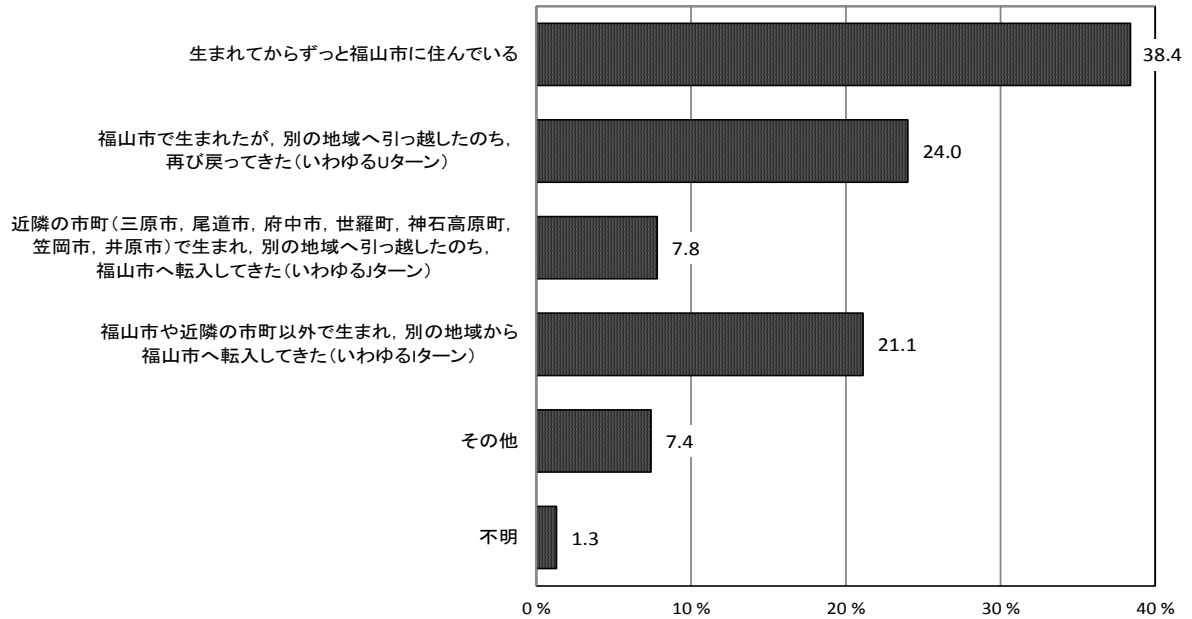


2 定住・移住に関すること

(3) 福山市での居住歴（全員、単数回答）

○「生まれてからずっと住んでいる」（38.4%）が最も多く、次いで「福山市へのUターン」（24.0%）、「福山市へのIターン」（21.1%）、近隣の市町出身者で福山市にJターンした人（7.8%）の順となっている。

(n=1,108)

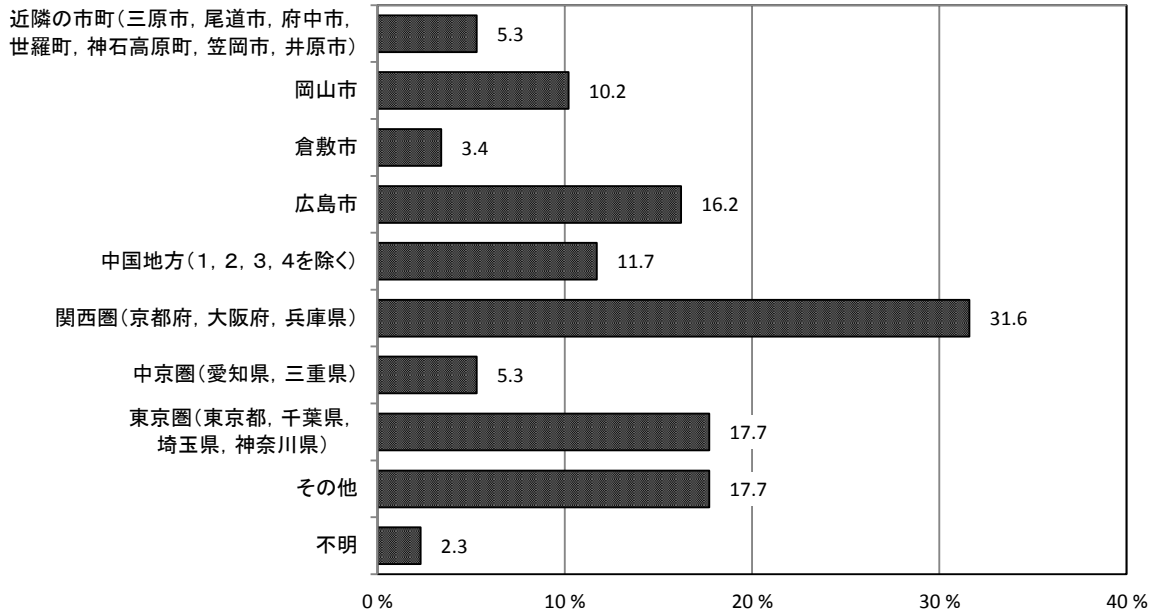


(4) 転出先の地域と転出理由 (いわゆるUターンの方のみ、複数回答)

【転出先の地域】

○関西圏 (31.6%) が最も多く、次いで東京圏 (17.7%)、広島市 (16.2%) などの順となっている。

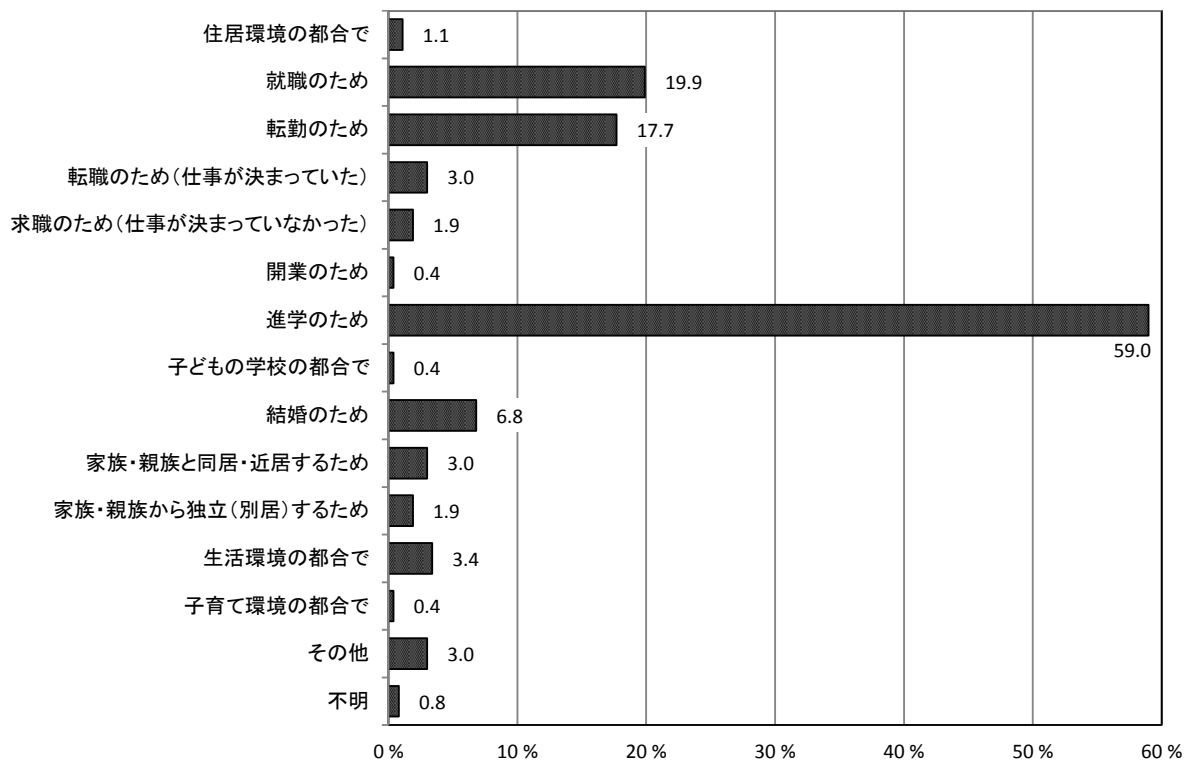
(n=266)



【転出理由】

○「進学のため」(59.0%) が圧倒的に多く、次いで、「就職のため」(19.9%)、「転勤のため」(17.7%) が続いており、仕事の都合によるものが多くなっている。

(n=266)

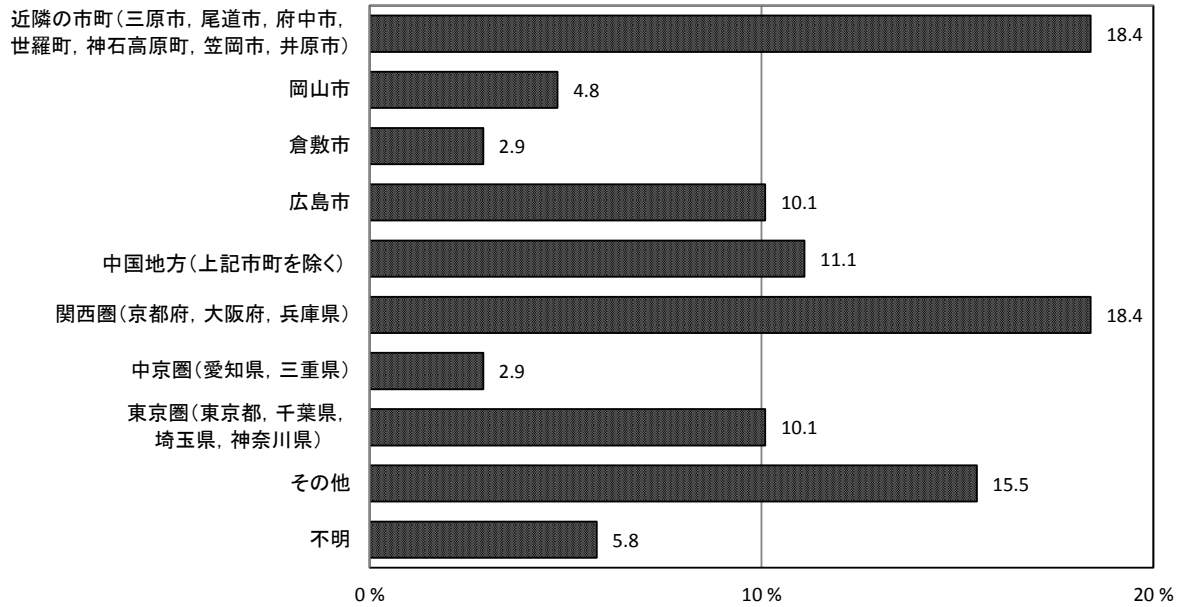


(5) 転入元の地域と転入理由、及び福山市を選んだ理由（Uターン、Jターン、Iターンの方のみ、複数回答）

【転入元の地域】

○近隣市町（18.4%）、関西圏（18.4%）などとなっている。

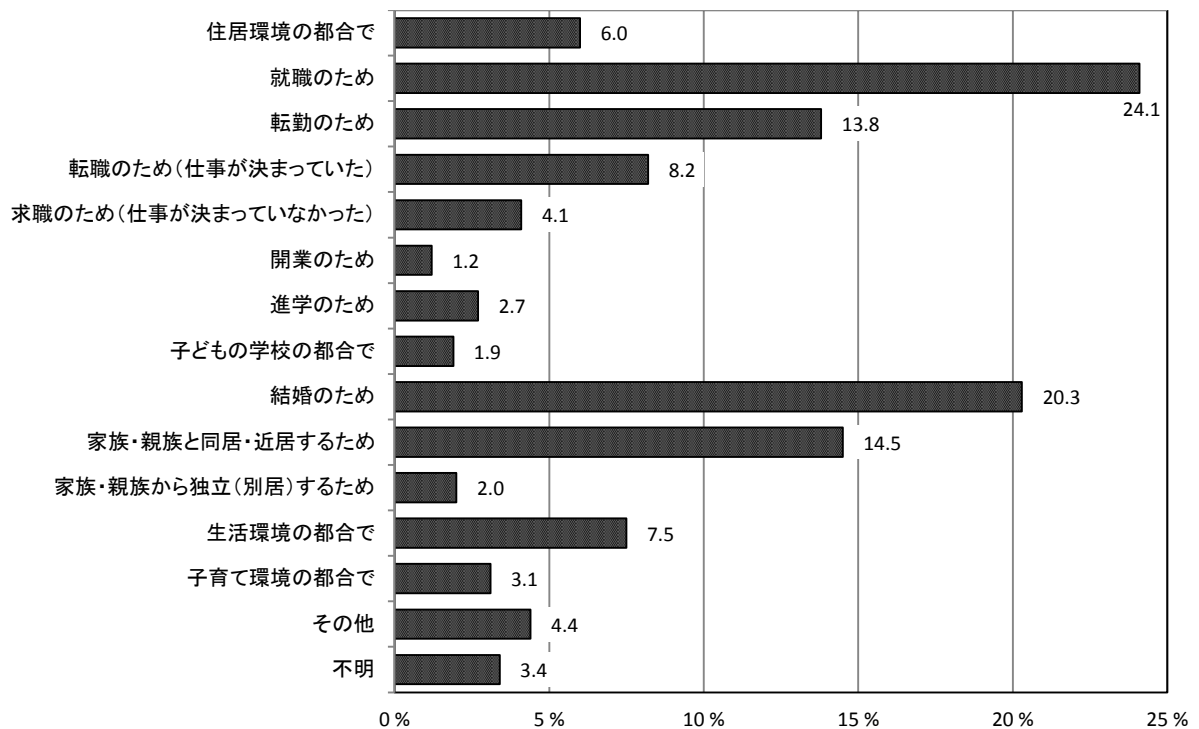
(n=586)



【転入理由】

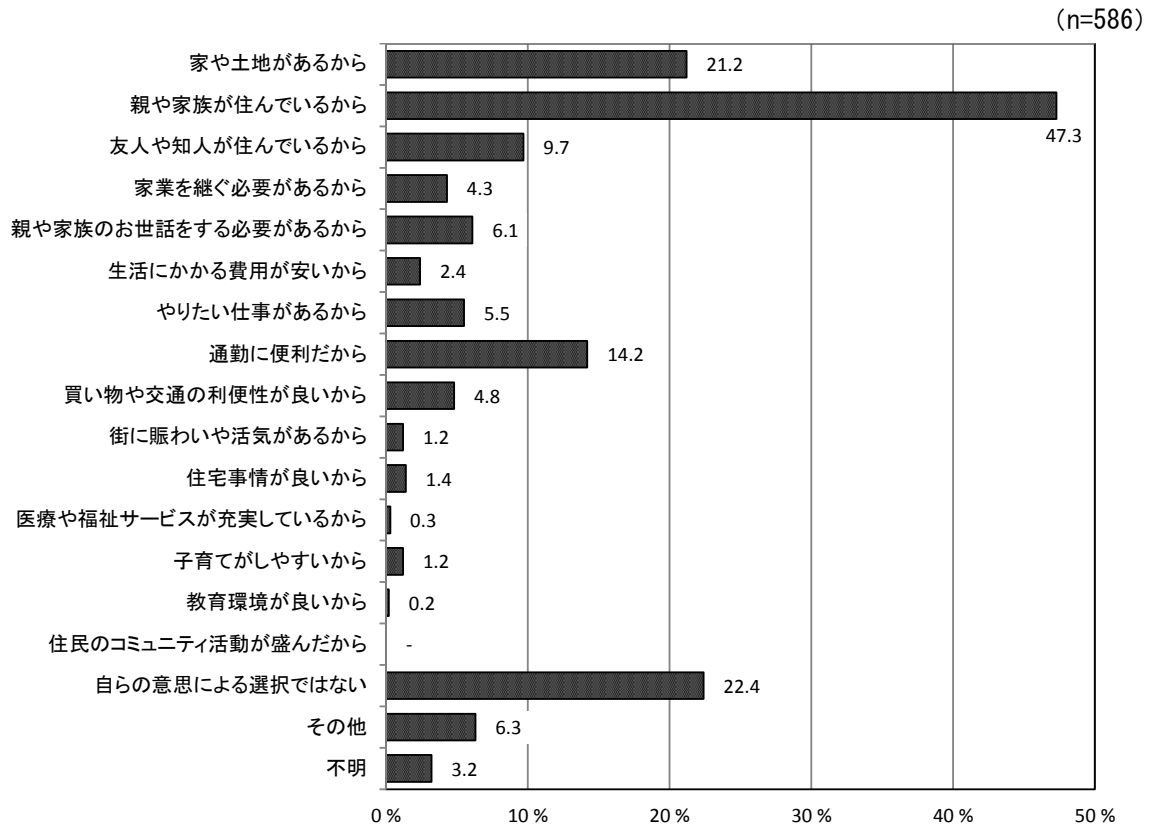
○「就職のため」(24.1%)、「結婚のため」(20.3%)、「家族・親族と同居・近居するため」(14.5%)、「転勤のため」(13.8%)の順となっている。

(n=586)



【福山市を選んだ理由】

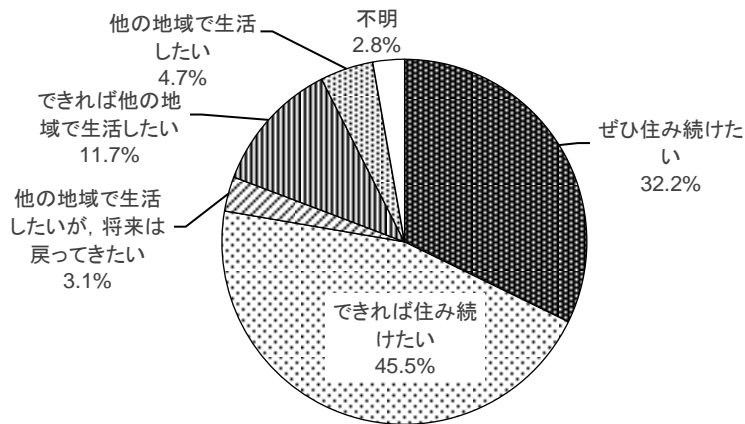
○「親や家族が住んでいるから」(47.3%)，転勤などを含む「自らの意思による選択ではない」(22.4%)が多くなっている。



(6) 今後も福山市に住み続けたい割合（全員，単数回答）

○「ぜひ住み続けたい」，「できれば住み続けたい」が約8割となっている。

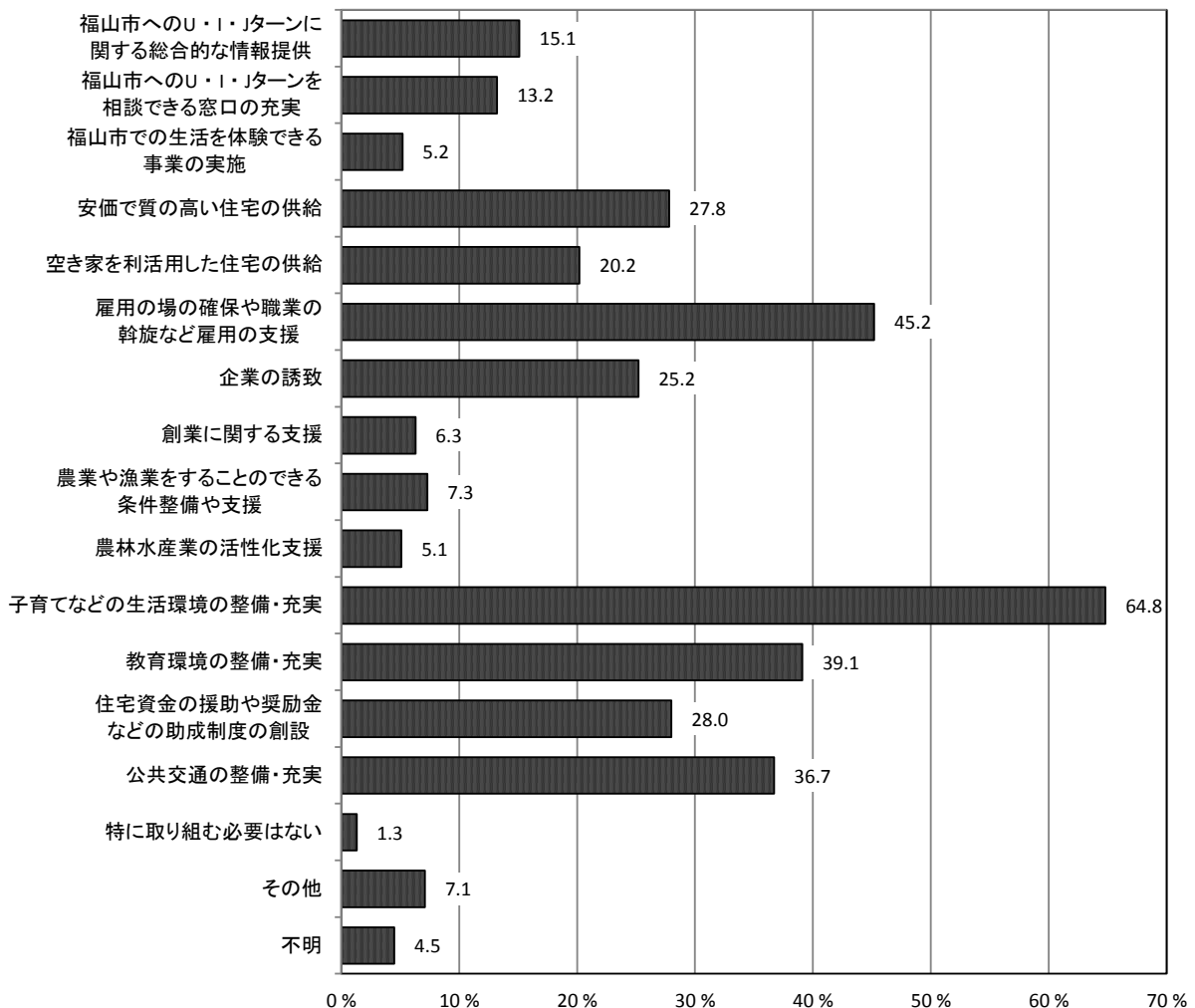
(n=1, 108)



(7) 福山市への転入者を増加させるために必要と思う行政施策（全員，複数回答）

○「子育てなどの生活環境の整備・充実」(64.8%)，「雇用の場の確保や職業の斡旋など雇用の支援」(45.2%)，「教育環境の整備・充実」(39.1%) などとなっている。

(n=1, 108)

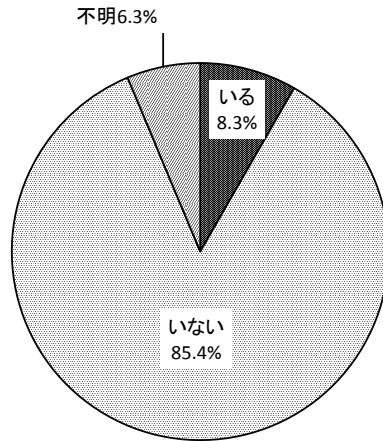


3 大学生の卒業後の進路

(8) 大学生の子ども（別居を含む）の有無（全員，単数回答）

○「いる」が8.3%となっている。

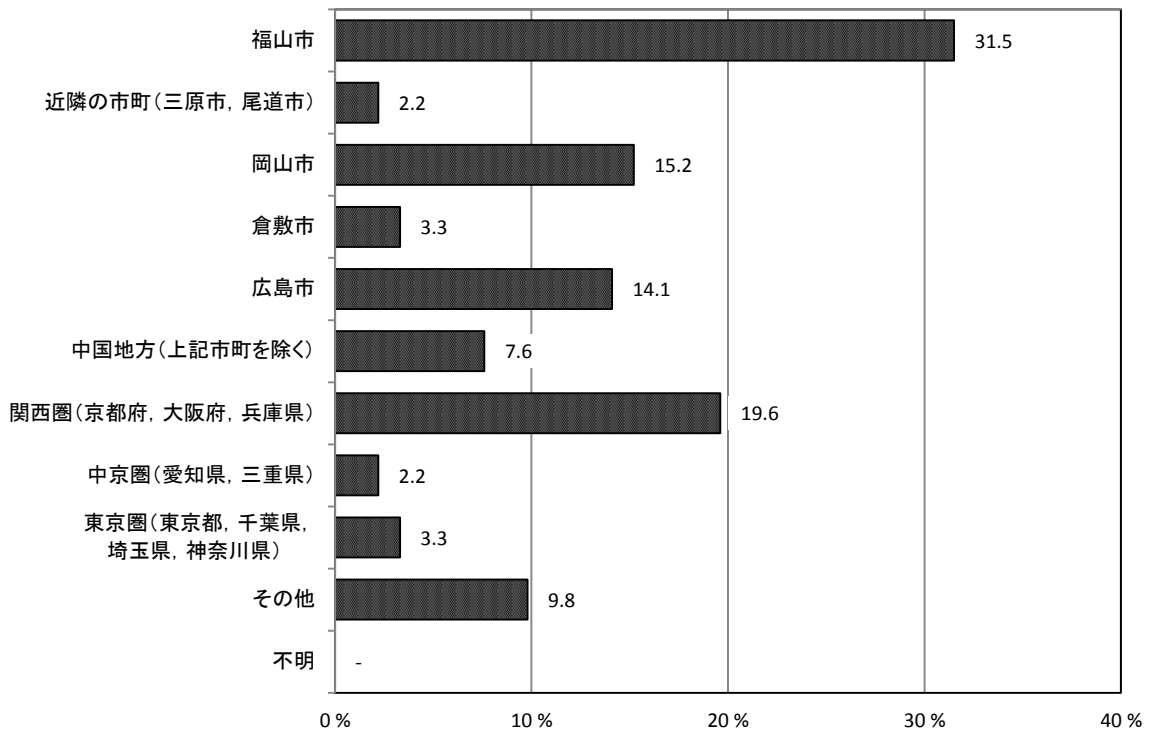
(n=1,108)



(9) 子どもが進学している大学の所在地（大学生の子どもがいる方のみ，重複回答）

○福山市（31.5%），関西圏（19.6%），岡山市（15.2%）などとなっている。

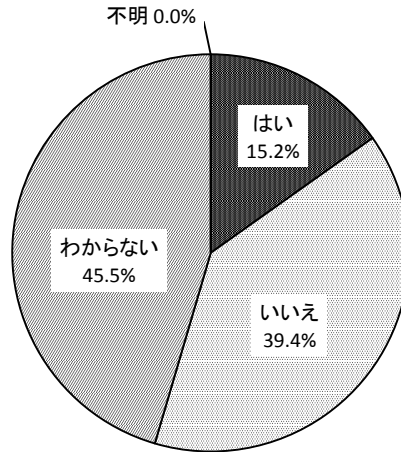
(n=92)



(10) 子どもが卒業後に福山市に戻ってくる可能性(子どもが福山市以外に進学している方のみ, 単数回答)

○「はい(戻ってくる)」(15.2%), 「いいえ(戻ってこない)」(39.4%), 「分からない」(45.5%)
 となっており, 戻ってくる可能性は低いと考えている親が多い。

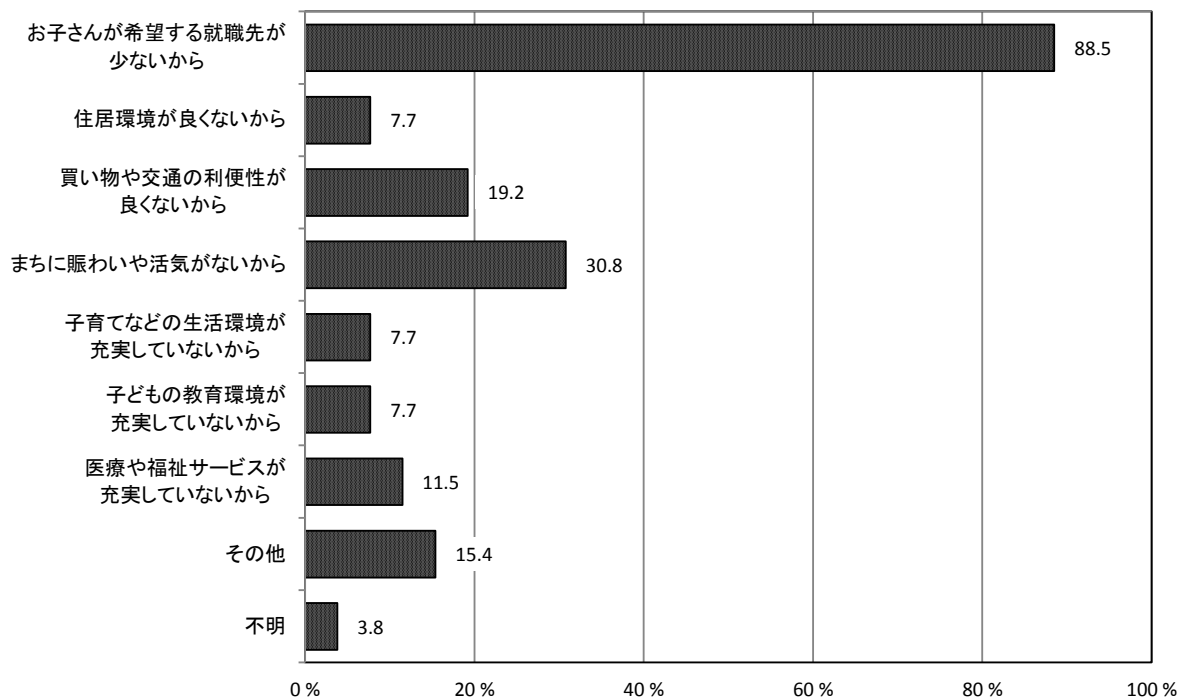
(n=66)



(11) 子どもが卒業後に福山市に戻ってこないと考える理由(子どもが福山市以外に進学している方のみ, 複数回答)

○「お子さんが希望する就職先が少ないから」(88.5%), 「まちに賑わいや活気がないから」(30.8%) となっている。

(n=26)



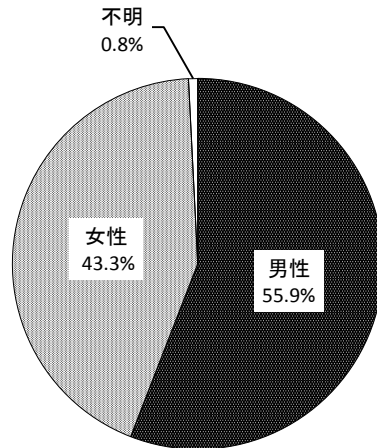
Ⅲ 高校生の「進学・就職」に関する意識調査

1 属性

(1) 性別（全員，単数回答）

○「男性」が55.9%，「女性」が43.3%となっている。

(n=1,398)



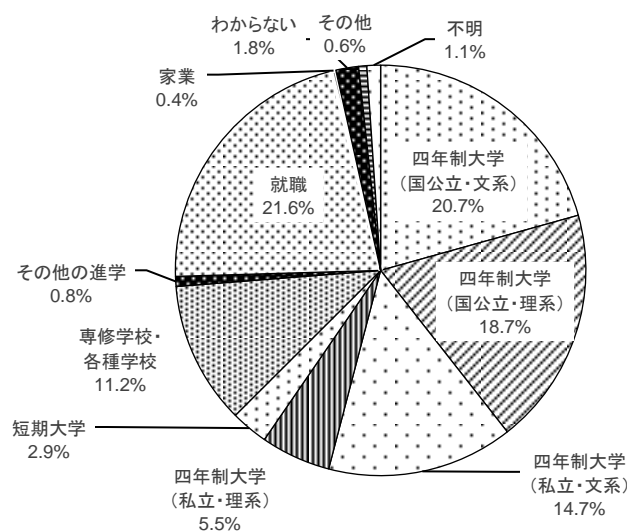
2 卒業後の進路

(2) 卒業後の進路希望（単数回答）

○「進学」(74.5%)，「就職」(21.6%)となっている。

○「進学」のうち，割合が高いのは，「四年制大学（国公立・文系）」(20.7%)，「四年制大学（国公立・理系）」(18.7%)の順となっている。

(n=1,398)

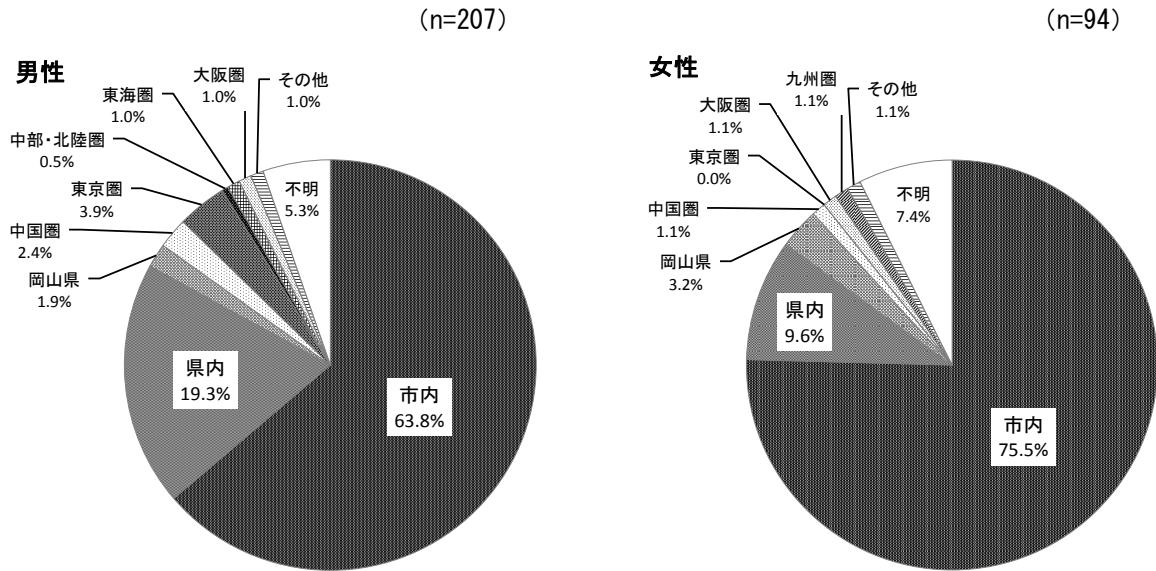


3 就職

(3) 就職を希望する地域とその理由

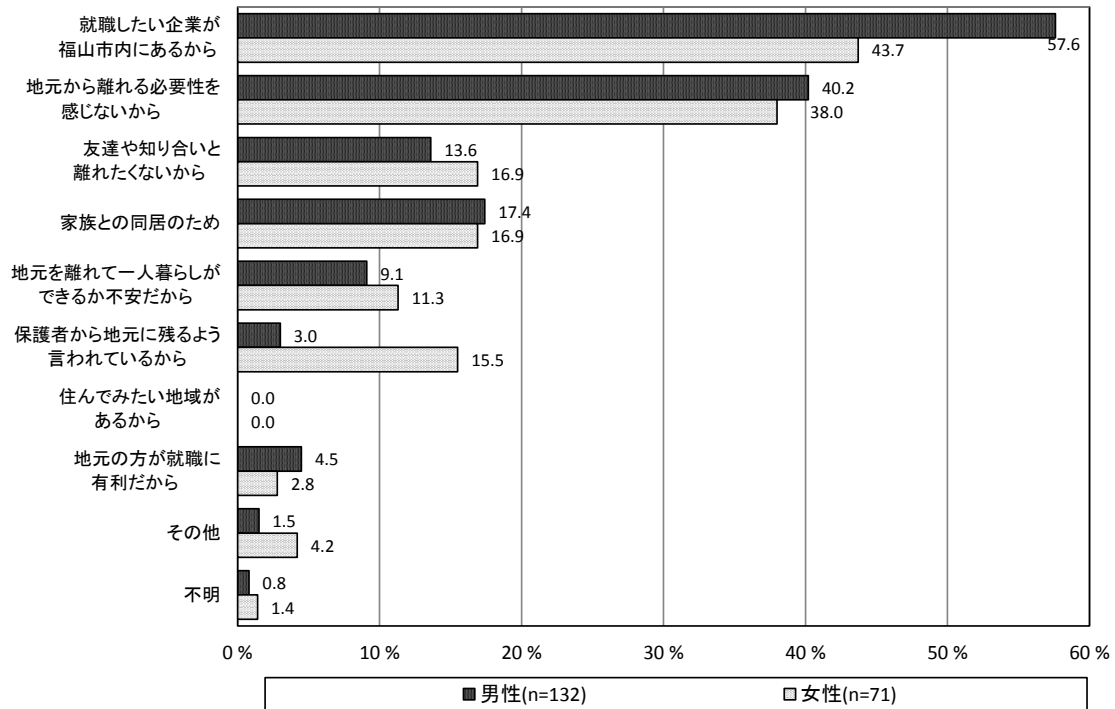
【地域】（高校卒業後、就職を希望する人のみ、単数回答）

○男性,女性とも福山市内が最も多くなっている。広島県内を含めると8割を超える割合となっている。



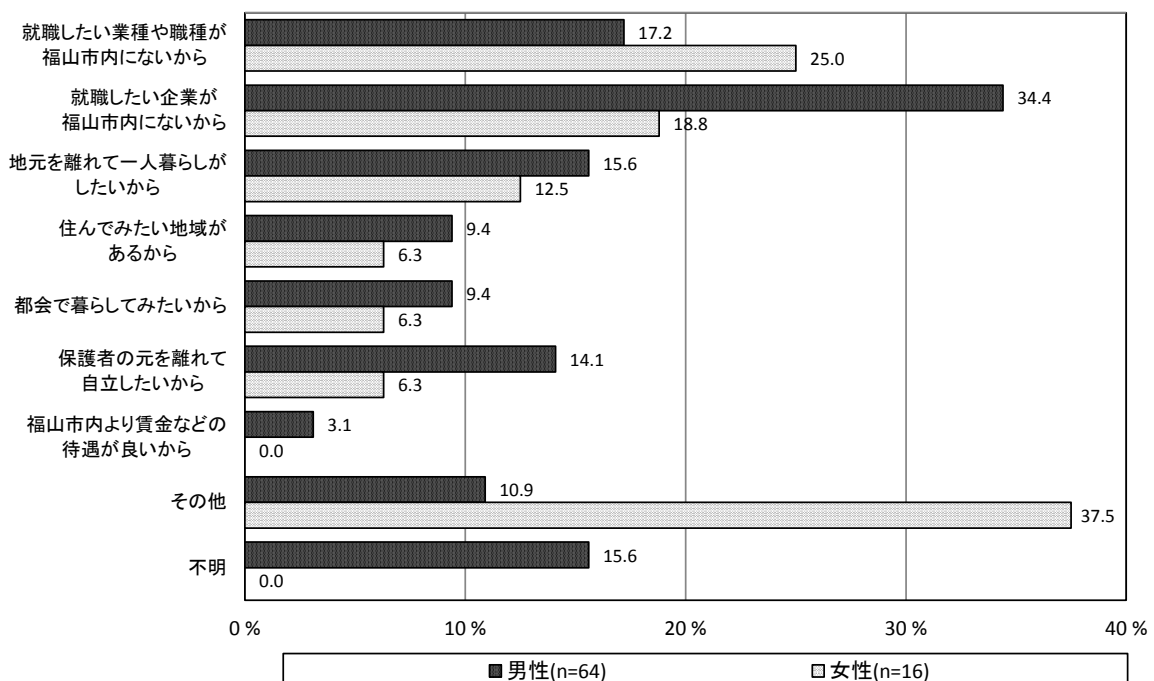
【福山市内への就職希望理由】（高校卒業後、福山市内に就職を希望する方のみ、複数回答）

○男性・女性ともに、「就職したい企業が福山市内にあるから」「地元から離れる必要性を感じないから」が多くなっている。



【福山市外への就職希望理由】（高校卒業後、福山市外に就職を希望する方のみ、複数回答）

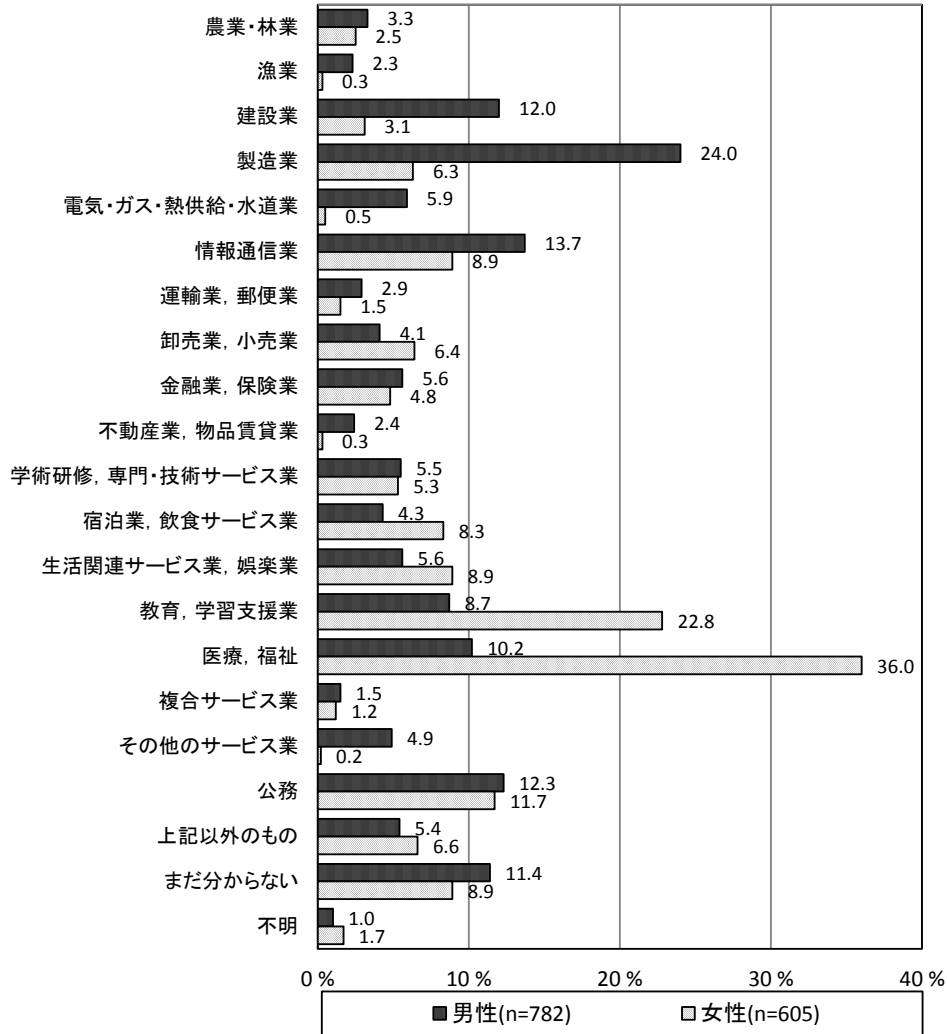
○男性では、「就職したい企業が福山市内にないから」（34.4%）、「就職したい業種や職種が福山市内にないから」（17.2%）の順で多く、女性では、「就職したい業種や職種が福山市内にないから」（25.0%）、「就職したい企業が福山市内にないから」（18.8%）の順となっている。



(4) 将来、働きたい業種

【全体】(全員、複数回答)

○男性では、「製造業」(24.0%)、「情報通信業」(13.7%)、「公務」(12.3%)が上位3業種で、女性では、「医療、福祉」(36.0%)、「教育、学習支援業」(22.8%)が特に多くなっている。男性は比較的多様な職種に分かれているが、女性では特定の業種に集中する傾向がみられる。

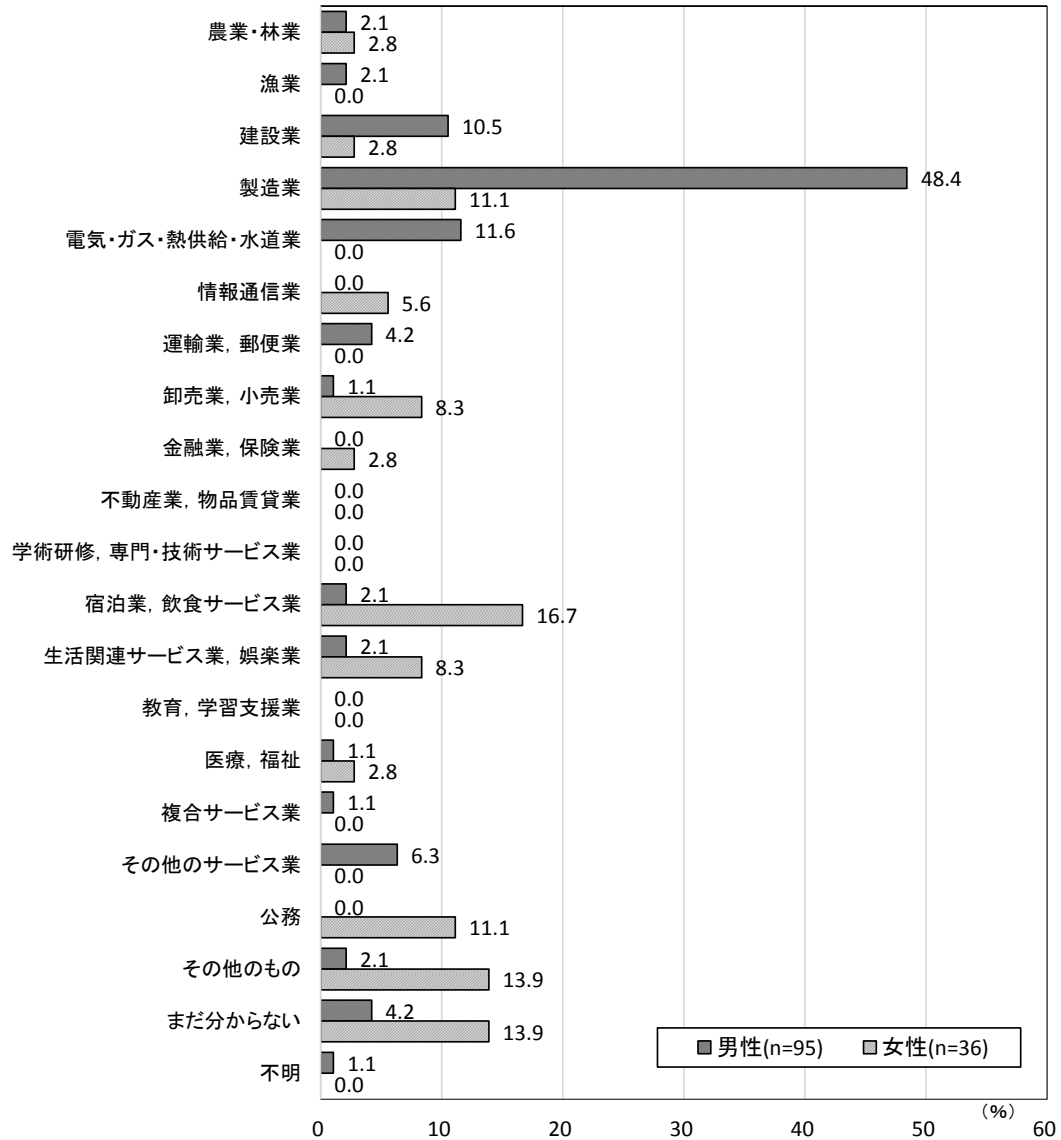


【福山市内への就職希望者】

(高校卒業後、福山市内に就職を希望する方で、「就職したい企業が福山市内にあるから」と回答した方のみ、重複回答)

○男性では、「製造業」(48.4%)が圧倒的に多い。

○女性では、「宿泊業、飲食サービス業」(16.7%)などが多くなっている。

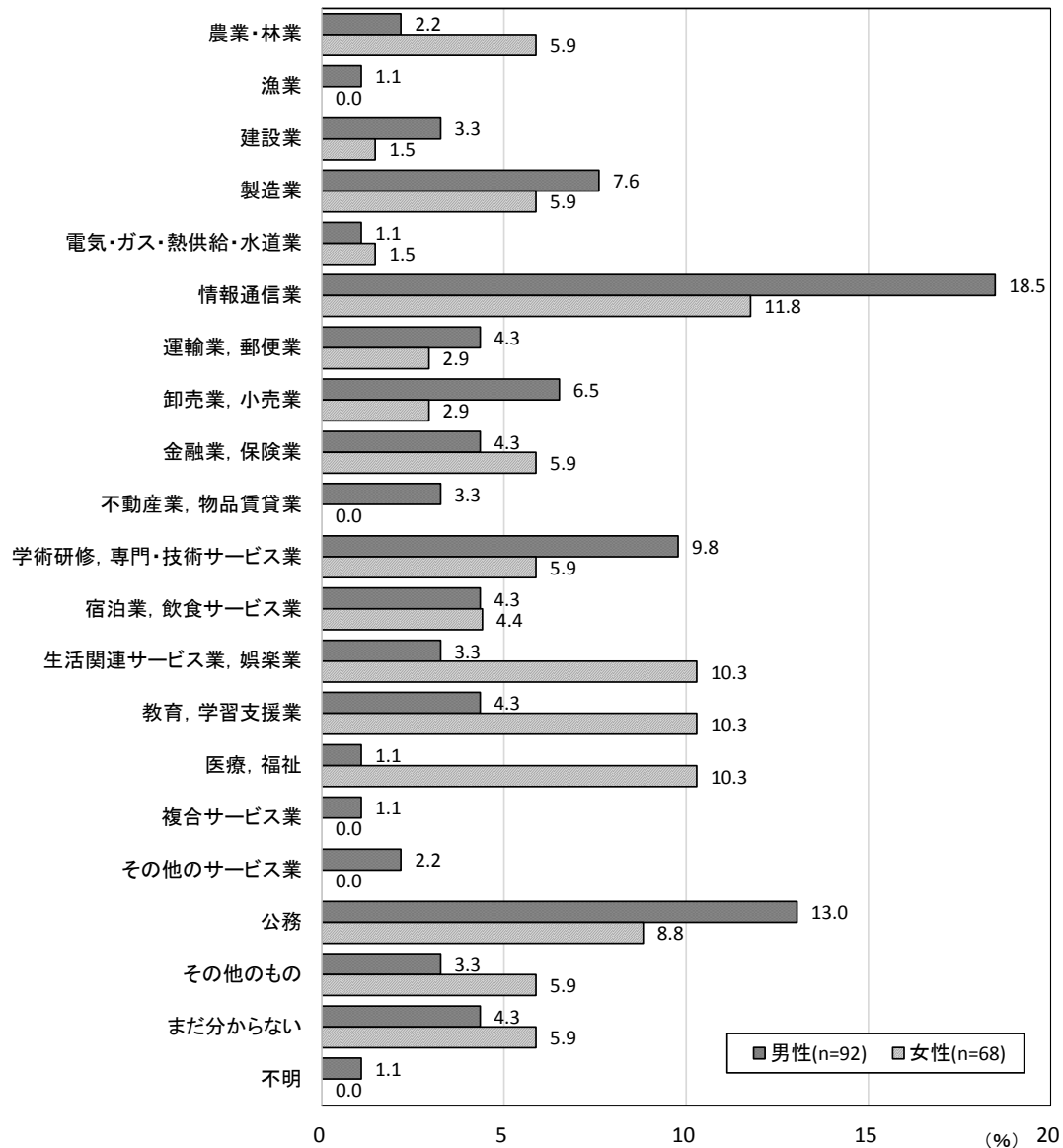


【福山市外への就職希望者】

(高校卒業後、福山市外に就職を希望する方で、住んでいる市・町に将来戻って来たくない理由で「就職したい業種や職種が地元にはないから」と回答した方のみ、重複回答)

○男性では、「情報通信業」(18.5%)、「公務」(13.0%)などが多い。

○女性では、「情報通信業」(11.8%)、「生活関連サービス業, 娯楽業」(10.3%)、「教育, 学習支援業」(10.3%)、「医療, 福祉」(10.3%)が多くなっている。

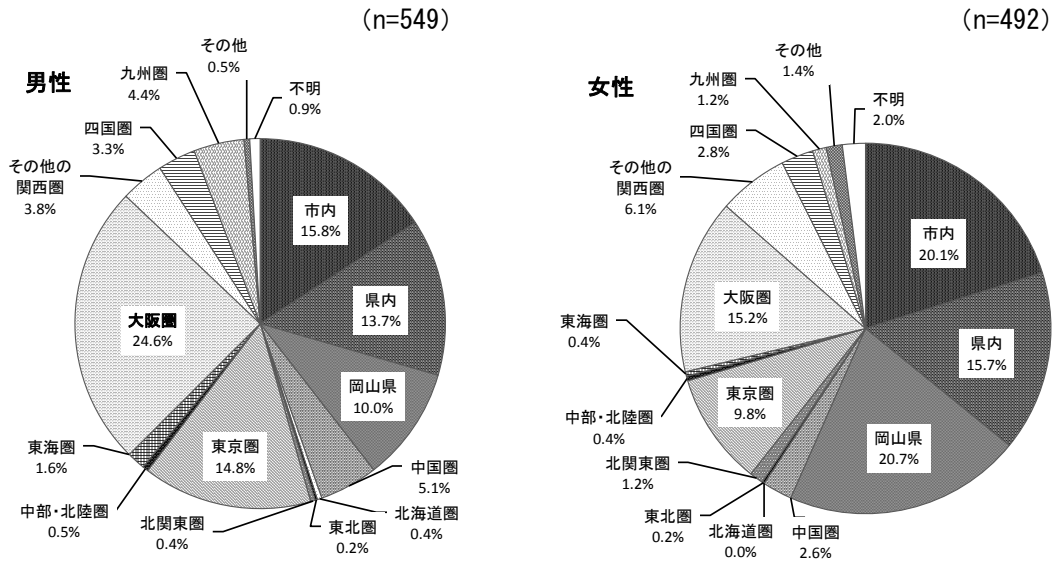


3 進学

(5) 進学を希望する地域と、県外に進学を希望する理由

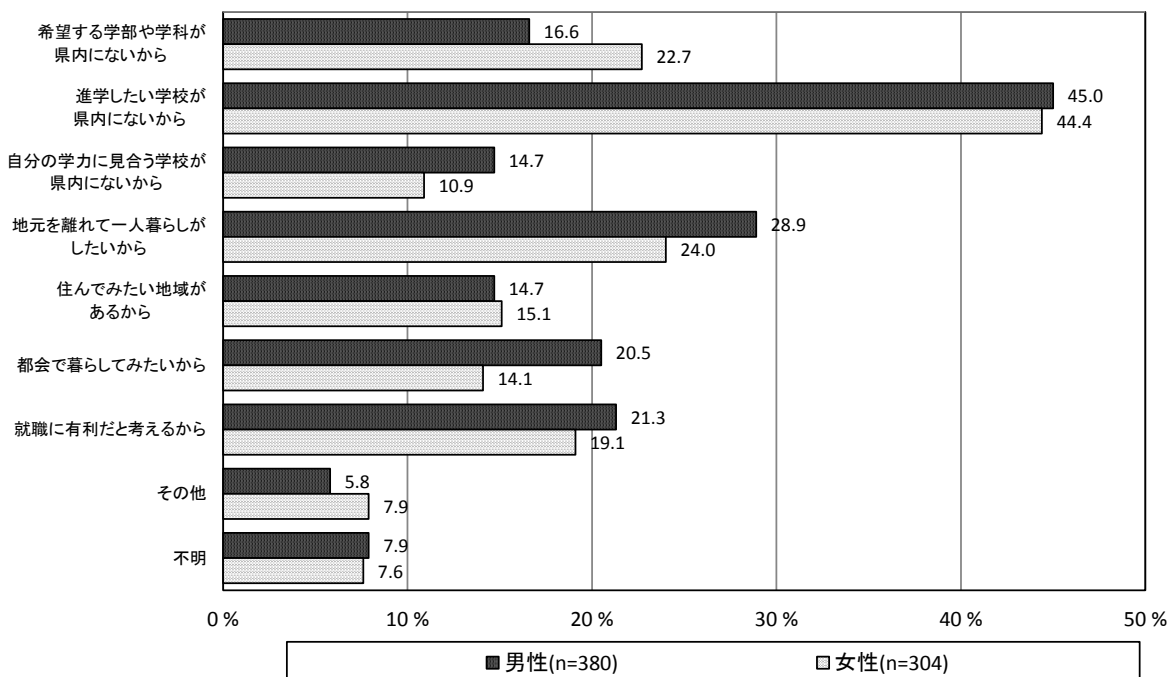
【地域】(卒業後、進学を希望する方のみ、単数回答)

- 男性では、大阪圏 (24.6%) ,福山市内 (15.8%) ,東京圏 (14.8%) ,広島県内 (13.7%) ,岡山県 (10.0%) などが多い。
- 女性では、岡山県 (20.7%) ,福山市内 (20.1%) ,広島県内 (15.7%) ,大阪圏 (15.2%) などが多くなっており、男性に比べて、岡山県、福山市が多くなっている。



【県外に進学を希望する理由】(卒業後、県外に進学を希望する方のみ、単数回答)

- 「進学したい学校が県内にない」が最も多く、「一人暮らしがしたい」「就職に有利」「希望する学部や学科が県内にないから」などの順となっている。



4 福山市への愛着

(6) 福山市へ愛着を感じる割合（全員、単数回答）

○「感じる」が50.4%と過半数を占めている。

(n=1,398)

